

計画等の案の概要

名 称	静岡県の試験研究機関に係る基本戦略（計画期間：2025～2028年度）				
公表するもの	静岡県の試験研究機関に係る基本戦略（案）（計画期間：2025～2028年度）				
県民意見の募集	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">有</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無</td> </tr> </table> 有の場合は その募集期間	有	無		令和8年2月2日(月)～令和8年2月25日(水)
有					
無					
担当課等名	経済産業部産業革新局産業イノベーション推進課 電話番号054-221-2609				
総合計画における位置づけ	I-1-1 イノベーションの創出と次世代産業の振興 (2) 次世代産業の振興 ⑨ イノベーションを支える環境整備				
審議会等の名称	—				
1 趣旨	<p>静岡県では、令和4年3月に、令和7年度までの4年間を計画期間とする「静岡県の試験研究機関に係る基本戦略」を策定し、各研究所における「研究開発」「技術支援」「調査研究」の4年間の重点取組を定め、研究所のコア技術を活かした技術支援、社会変化に伴う新たな課題を解決する研究開発・社会実装への貢献、「オープンイノベーション」による研究の一層の推進などの取組を行ってきました。</p> <p>このたび、人口減少や国際情勢の不安定化、気候変動、AI等のデジタル技術の進展など社会・環境の大きな変化を踏まえ、令和7年度からの4年間を計画期間とする「静岡県の試験研究機関に係る基本戦略」を策定します。</p>				
2 骨子	<p>(1) 計画の期間 2025～2028年度（令和7～10年度）までの4年間</p> <p>(2) 計画の位置付け</p> <p>本県の総合計画（計画期間：2025～2028年度）の見直しに合わせて、総合計画を上位計画とする「静岡県の試験研究機関に係る基本戦略」を策定します。</p> <p>本戦略は試験研究機関の横断的戦略として、本県の試験研究機関に求められる姿・役割、戦略推進の重点方針や進捗を評価する数値目標などを定めます。</p> <p>(3) 計画の目的</p> <p>社会・環境が大きく変化する中で、静岡県総合計画に掲げる「幸福度日本一の静岡県」の実現のため、地域の「イノベーションの拠点」として「本県産業の持続的な発展」と「安全・安心な県民生活」を支えていくことを目的としています。</p> <p>(4) 計画の構成</p> <p>本戦略では、これまでの戦略（2022～2025年度）における取組の評価と課題を踏まえ、「基本戦略の目的」を実現するため、本県の試験研究が今後対応すべき課題を抽出するとともに、それらの課題を踏まえた今後4年間の戦略推進における「重点方針」及び研究開発において留意すべき「取組のポイント」を定めました。これらで示した方向性を踏まえつつ、(1)各研究所が行う試験研究の戦略体系、(2)試験研究を支える環境整備について、取組内容を示しています。</p>				

<全体編>

第1章 基本戦略の概要

- 1 試験研究機関の役割
- 2 基本戦略の位置付け
- 3 対象期間

第2章 これまでの戦略（2022～2025年度）の評価

- 1 これまでの取組
- 2 評価

第3章 試験研究を取り巻く状況

- 1 本県を取り巻く社会・環境の変化
- 2 科学技術・イノベーション分野における国・県の動向

第4章 戦略推進の重点方針

第5章 試験研究の戦略体系

- 1 イノベーションを促進する「研究開発」
- 2 地域産業の持続的発展を支える「技術支援」
- 3 安全・安心な県民生活に貢献する「調査研究」

第6章 試験研究を支える環境整備

- 1 試験研究体制の整備
- 2 研究人材の育成・確保
- 3 研究所のDX推進
- 4 外部資金の確保
- 5 知的財産の有効活用
- 6 広聴・広報の強化

第7章 数値目標

<各研究所計画編>

第8章 各研究所計画

- 1 農林技術研究所
- 2 畜産技術研究所
- 3 水産・海洋技術研究所
- 4 工業技術研究所
- 5 環境衛生科学研究所